

いい表情の子を育む

今年ものこりわずかとなりました。皆さんにとって、2024年はどのような一年でしたか。

12日に発表された「今年の漢字」は、「金」でした。光を表す「金(キン)」と影を表す「金(かね)」の2つの意味を示しているそうです。2位は「災」で、元日の能登半島地震やその翌日の航空機事故など、「災」とともに始まった一年だったことを理由にあげている方が多かったようです。「今年の漢字」は、「日本漢字能力検定協会」がその年の世相を表す漢字ひと文字を一般から募集し、その中で最も多かったひと文字が選ばれています。

「金」が選ばれたのは、2021年以来、5回目とのこと。今年、「キン」が選ばれた理由としては、「パリで行われたオリンピックやパラリンピックで、数多くの金メダルを獲得した」というものが多く、その他に「大谷翔平選手が3回目のMVPを獲得するなど値千「金」の活躍だった」「佐渡島の金山が世界文化遺産に登録された」などがあげられています。そして、「かね」については、「政治の裏金問題」「金目当ての闇バイト強盗事件」「止まらない物価高騰」などが理由になっているようです。

皆さんにとっての「今年の漢字」は何でしょう。私が選ぶとしたら「震」です。

お正月を迎えのんびりと過ごす中で、石川県に緊急地震速報が出され、能登半島で震度5強・震度7と大きな揺れが続いていました。その後、津波警報が出されたり、数時間後には火災が起きたりと、報道される様子から目を離せずにいました。そして、2日…。東京・羽田空港で日本航空の旅客機と海上保安庁の航空機が衝突するという事故が発生しました。年明け早々に連続でショッキングなできごとがあり、心が震えたことを思い出しています。

また、川崎小学校へ異動してきたことで心が震えることがたくさんありました。

まずは、教育後援会や振起会・同窓会など、子どもたちを支えてくださる方々の多さに驚きが隠せませんでした。子どもたちが見守られている環境が整っていることに感謝しかありません。2つ目は、外国につながる児童が多いことです。本校の教職員は、そのことを前向きにとらえ、人と違うことを個性と受け止め、お互いを認め合う学級づくりをしていることに驚きました。3つ目は、本校では「全員参加・全員理解」の授業をめざし、取り組んでいることです。この研究は、13年にわたり継続されています。多くの方が入れ替わる中で、同じことを続けていくには、エネルギーが必要です。そのため、教職員は日々子どもたちのことを思いながら、授業を充実させようと教材研究に尽力しています。そのような姿に心が揺さぶられています。そのような本校へ異動できたことを嬉しく思っています。

最後になりましたが、保護者の皆さま・地域の方々には大変お世話になりました。感謝申し上げます。来年もよろしく願います。よいお年をお迎えください。